

■小出檜重 洋画家。近代挿絵史に残る「蓼喰ふ虫」や裸婦画の傑作を描き、関西洋画壇の発展に貢献するも、早世した。

こいでならしげ

国民之友始・1887＝ 大阪市南区に生まれる。家業は膏薬「天水香」で知られた薬種商であった。

帝国憲法発布1889＝ 2歳：

日清戦争始・1894＝ 7歳：南区の尋常小学校に入学。

白馬会・・・1896＝ 9歳：

子規句歌革新1898＝11歳：続いて、高等小学校に入学。

田中正造直訴1901＝14歳：大阪府立市岡中学校に第一期生として入学。

心臓疾患が見つかり、進級が一年遅れる。洋画家に憧れ、図画教師に学ぶ。

日露戦争終・1905＝18歳：

韓国反日暴動1907＝20歳：卒業。父が死去。上京して、東京美術学校西洋画科を受験するが、不合格となり、日本画科に編入。

伊藤博文暗殺1909＝22歳：西洋画科への転科を決意、白馬会洋画研究所に学び、第一学年に転科。

明治天皇没・1912＝25歳：

第一次大戦始1914＝27歳：東京美術学校西洋画科を卒業。関西に戻り、寺や料亭の部屋を借りて、制作。文展に出品するも落選。
21ヶ条要求・1915＝28歳：日本美術院展で「山の初夏」が入選。

ロシア革命・1917＝30歳：結婚し、奈良に新居。*日本産業博覧会の美術展で「静物」が特選。院展で「夏の斜陽」が入選。

ベルサイユ条約・1919＝32歳：*第6回二科展で3点入選、うち「Nの家族」が樗牛賞、

大暴落・・・1920＝33歳：第7回二科展で4点入選、うち「少女お梅の像」が二科賞を受ける。宇野浩二の童話集の装訂、挿絵。

原敬首相暗殺1921＝34歳：フランスへ留学するが、

水平社結成・1922＝35歳：送金を盗まれたため、帰国。以後、二科展を中心に出品を続ける。

関東大震災・1923＝36歳：大阪市美術協会創設委員として、その幹事となる。二科会会員となり、

護憲三派圧勝1924＝37歳：鍋井克之、黒田重太郎らと大阪に「信濃橋洋画研究所」を創立。

治安維持法・1925＝38歳：母が死去。同志と雑誌「マロニエ」を編集、創刊。多才な彼はガラス絵の復興者でもあり、

円本時代始・1926＝39歳：以降、作品を制作・出品。大阪朝日新聞夕刊連載小説の挿絵を描く。以後、挿絵の仕事も多い。

金融恐慌・・・1927＝40歳：最初の随筆集「檜重雑筆」。全関西洋画展を興し、関西洋画壇の指導者として活躍。初期の写実的な作風から、要約した形体と流麗な色調によって独自の様式化した画風を作り、大正から昭和初期にかけての日本洋画の水準を示したが、特に裸婦像に秀作が多い。

世界恐慌・・・1929＝42歳：*谷崎潤一郎「蓼喰ふ虫」の挿絵は近代挿絵史に残る傑作である。

海軍軍縮条約1930＝43歳：随筆集「めでたき風景」。「油絵新技法」を出版。_代表作「支那寝台の裸女」。

満州事変・・・1931＝44歳：*心臓発作を起して、没した。絶筆で代表作「枯木のある風景」。